

## 令和5年度 自己評価結果報告書

自己評価について

この報告書は、もみや幼稚園の職員が令和5年度の保育を振り返り、様々な項目にどのように取り組んだかをまとめたものです。その結果から不十分なところを次の課題として園全体で取り組み、保育の質を高め、職員一人一人の資質向上にも繋げていきたいと考えております。今後も、全職員で子ども達の健やかな成長を支えることができよう努めて参りたいと思います。

(評価例) 4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない

評価項目	内容	平均評価	
① 保育の 計画性	園の理念	●園の教育目標、今年度の重点を理解している	3.6
	教育要領	●教育要領を読み、理解している	3.2
	教育課程	●指導計画では、教育要領・教育課程・幼児の実態に即して作成し周囲の状況や変化に対応する	3.6
	環境構成	●指導計画に基づいた安全で安心感、清潔感のある環境を構成する	3.7
		●幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や遊具に配慮し、必要な数量を用意する	3.6
		●幼児の発達を見通し、より豊かな活動が展開できるよう環境を再構成する	3.4
		●積極的に屋外に出掛け自然に触れたり、季節の変化に応じた環境を構成したりする	3.4
	評価・反省	●自己の保育についての評価・反省を様々な観点から行う	3.2
●自分の保育を評価・反省することで、園全体の保育に生かしている		3.1	
② 保育の あり方 幼児の 対応	健康・安全	●日頃から園内の危険個所に配慮する	3.7
		●毎日の園児の健康視診を大切にす	3.9
		●事故やけがが発生した場合は迅速に適切な処置を行う	4
	幼児理解	●幼児一人ひとりをよく観察し、幼児の思いを受け止める	3.6
		●幼児同士のかかわりの姿から、個々の成長発達を踏まえ、見通しをもって理解する	3.8
	指導	●幼児の思いや考えに共感し、受け入れる	3.7
		●規範意識・道徳性を養ううえでモデルとなるよう心掛ける	3.3
		●幼児の年齢・発達に応じた指導や援助をする	3.7
③ 保育者の 資質 能力	資質	●幼児の保育教育についてクラスでの意見交換を密にし共通理解している	3.7
		●職務上の情報等の秘密を守秘する	4
	能力	●保育者としての自覚を持ち、社会人の常識をわきまえ、行動する	3.5
	義務	●教職員組織の協調性を大切にし、チームとしての自覚をもつ	3.6
	組織	●意見交換を行い、相互理解を深めたくえて組織内の問題の共有化に努める	3.4
		●当番や役割業務など、課せられた仕事は確実にを行う	3.6
		●当番や決められた役割以外にも、状況に応じて他の職員の援助を行う	3.2

④ 保護者への 対応	対話・交流 対応	●保護者に幼児の様子を的確に伝える	3.3
		●保護者からの相談や要望をよく聞くように心がける	3.6
		●保護者との対応には公正さを信条とし、保育時間外でも誇りと自覚を持った言動・行動を心がける	3.6
		●電話での対応は分かりやすく真摯な対応に努める	3.6
		●保護者からの話を確実に園長・主任などに報告・連絡・相談をする	3.8
⑤ 地域・自然 社会との かかわり	地域・自然 人とのかかわり	●地域の自然や施設、行事等について理解し、積極的に利用する	3.1
		●地域の人々とあいさつや会話を交わし、親睦に心がける	3.3
	幼保小の連携	●10の姿などにかかわり、小学校の教育内容について理解するよう努める	3.2
		●地域の保育園や小学校に関心を持ち、出来る限り交流を図る	2.9
子育て支援	●子育て支援の役割や内容を理解する	3.2	
⑥ 研修と研究	研修・研究への 意欲・態度	●研修会や研究会には自己課題を持って積極的に参加するよう努める	3.6
		●自分の保育について自己課題を持って取り組む	3.2
	保育者としての 専門性に関する 研修・研究	●自分の保育のあり方について振り返り自己解決に努めたり、悩んだ時は他の保育者に相談する	3.6
		●幼児の発達に必要な知識を学び、現場に生かすよう努める	3.4
		●記録の取り方、考察の仕方に関することを学ぶ	3.1
		●教育課程や指導計画の理解と作成に関することを学ぶ	3.1
		●幼児の発達を見通した環境構成や教材に関することを学ぶ	3.4
		●実践に基づいた評価方法と計画に関することを学ぶ	3.1
		●保育者への対応に関することを学ぶ	3.4
	●教育要領、保育指針に関することを学ぶ	3	
	●組織内の協力・連携に関することを学ぶ	3.6	
	今日的課題に関 する研修・研究	●アレルギー、成長の遅れ、問題のある幼児について理解する	3.6
		●幼保小連携の必要性や具体策について学ぶ	3.3
●子ども達の安心・安全に関する、危機管理の必要性と対応について学ぶ		3.6	
●社会情勢について関心をもつ		3.2	

## ② 改善と課題

総合的に見ると、「自分の保育を評価・反省すること」が今後の改善点となります。環境を整え、遊びを支え、一人ひとりの子ども達の心に日々寄り添う中で、自らの保育について振り返り、次に繋げていきたいと思ひます。そのためにも、記録の取り方、考察の仕方に関することを研修などを通して学び、保育者としての専門性を磨いていきたいと思ひます。